



図書館員が選ぶ この一冊

3

『凍える牙』

乃南アサ著 新潮社

女刑事・音道貴子の所属する第三機動捜査隊管轄内で、突如男が炎上し死亡した。事件は遺体^かに大型獣の咬み跡が残る連続殺人へと発展。男性優位の警察機構代表のような相棒の滝沢によって、捜査以外でも孤独な闘いを強いられる貴子。一体犯人は何者なのか？



貴子は30代。離婚を経験し、女性として生きること、男社会で働く難しさに悩みつつ、懸命に事件に挑む姿に惹きつけられる。また、滝沢の視点も丁寧に描写され、貴子に対する態度の変化を感じられるやりとりにも。読後、またこのコンビに会いたくなること必至。本作は第115回直木賞を受賞、シリーズ化されている。